

地域連携センターニュース

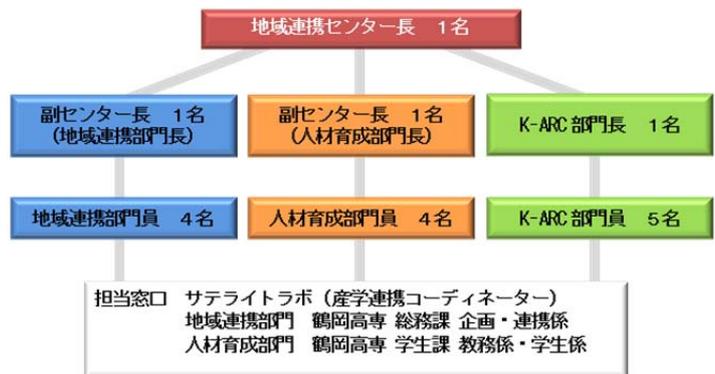
鶴岡高専地域連携センターの活動をお知らせいたします「地域連携センターニュース」。今年もいち早くフレッシュな情報をお伝えできるよう、年2回発行いたします。今年度は地域連携センターが新体制となり、更にパワーアップした地域連携センターについてご紹介いたします。

Topic1

地域連携センター新体制紹介

本校では、サイエンスの研究成果を高専の『ものづくり技術』を駆使して実用化し、先端科学の社会実装を担うことを目指すため、昨年度 ^{ケー・アーク} K-ARC (Kosen-Applied science Research Center) を鶴岡市メタボロームキャンパス内に設置しました。

そのことを受け、地域連携センターではこれまでの「地域連携部門」と「人材育成部門」に加え、新たに「K-ARC 部門」を設置しました。K-ARC 部門では、K-ARC での研究推進・研究交流、K-ARC での研究や情報の発信としてのシンポジウムやセミナーの開催などの活動を行っていきます。



Topic2

さかた産業フェア・つるおか大産業まつりへの出展

●さかた産業フェア 2016 10/1 (土) ~ 2 (日)



酒田市体育館にて「さかた産業フェア 2016」が開催されました。本校は、二日間、「創造工学実習」を履修した専攻科（機械・制御コース及び電気電子・情報コース）の学生が、独自のアイデアで設計製作した「人の役に立つ装置」を展示しました。多くの方に興味を持っていただき、実物を展示した起立支援椅子については、実際に座り「座るのも立ち上がるのも楽でとても良い」というご意見もいただきました。

●つるおか大産業まつり 2016 10/15 (土) ~16 (日)

鶴岡市小真木原公園（朝暘武道館）で「つるおか大産業まつり 2016」が開催され、本校からは、4 研究室が出展しました。1 日目は、佐藤淳研究室の「紙に銀ナノ粒子ペンで電気回路を作って LED を光らせよう」と宍戸研究室の「触らずに操作ができる?!未来の UFO キャッチャー」を出展し、2 日目には、上條研究室の「暗闇で光るオリジナルカラフル手形を作ろう!」と田中研究室の「緊急指令! ロボットアームで捕まえろ!!」を出展しました。両日とも途切れることなく行列ができるなど、こどもから大人まで大人気ブースとなり、たくさんの方に楽しんでいただくことができました。



市民サロンとは、鶴岡高専技術振興会と本校地域連携センターが共催で開催し、本校と地域内研究機関等の研究者・技術者を講師に、各専門分野の最新情報をわかりやすく提供する市民講座です。今年度も各講とも多くの皆様からご参加いただきました。

<第1講> どうする！庄内！－最近の災害から防災を考える－ 8/29(月)開催

山形県庄内総合支庁 総務企画部総務課防災安全室 消防防災主査 松永 睦 氏より「山形県の“津波想定”と“防災対策”～今やろう できる備えを～」と題し、「津波浸水想定・被害想定」についての内容・読み取り方のご説明、及び身の回りのできる備えについて「防止ハンドブック」を用いてご紹介いただきました。

本校からは、創造工学科 基盤教育グループの澤 祥 教授が「活断層が起こした熊本地震－活断層：庄内平野東縁断層帯は大丈夫なのか？」と題し、熊本地震や庄内の過去の地震などこれまでの地震を例に、地震のメカニズムや庄内地域の断層についてご説明しました。



<第2講> 知ろう！庄内！－歴史・文化の様々な角度から－ 9/26(月)開催



「山伏の食べ物～いのちを食する羽黒山の精進料理～」と題し、鶴岡市羽黒町庁舎 産業課観光商工室 専門員 日向 理恵 氏に、羽黒山や山伏についてご説明いただいた後、精進料理の種類や内容、またその意味について、写真を交えながらご説明いただきました。



日向 氏

本校からは、「鶴岡と『源氏物語』－鶴岡市立図書館蔵・『しのふくさ』をめぐって－」と題し、創造工学科 基盤教育グループ 森木 三穂 助教が、貴重な源氏物語のあらすじ本である「しのふくさ」が鶴岡市にあることから、源氏物語としのふくさの違いをご説明し、源氏物語を読み解きました。



森木 助教

<第3講> おたがいさま！庄内！－すべての人たちに健康と福祉を－10/21(金)開催



「福祉用具って何？介護負担を軽減する福祉用具のご紹介」と題し、(株)タマツ 営業部営業課 課長の阿部 伸也 氏に、住宅の改修例や開発商品、福祉用具について動画を交えながらご説明・ご紹介いただきました。

本校からは、「ICT, IoT 活用における健康・福祉について」と題し、

創造工学科 情報コース 高橋 聡 特命助教が、現在の日本、今後の日本の人口変動について、また ICT・IoT とはどのような技術なのかをご説明し、ICT・IoT を活用した製品をご紹介しました。



Topic4

CO-OP教育

CO-OP 教育とは、企業における中長期の就業や、企業と高専との共同研究を通じて総合的な就業能力を身に付けた学生を育成する共同教育プログラムです。

CO-OP 事前教育 本校の教員や各分野の技術職員らを講師とし、実際の就業を前に、図面の見方や工具の使い方、安全工学、電話応対演習などを学習する機会です。8月9日に実施しました。

CO-OP 教育 8月12日から9月30日までの夏季休業中のおよそ2週間に亘り、学生11名(本科3年生9名、本科4年生1名、専攻科1年生1名)が地元企業7社において実施しました。

実施企業 (7社)			
オリエンタルモーター(株)	(株)アライドテック	(株)スガサワ	(株)スタンレー鶴岡製作所
東北エプソン(株)	ミラノキング(株)	山形航空電子(株)	

学生はそれぞれの企業で、機械設備保全、製品製造稼働率向上、プログラム開発、機械設備管理保全、5S活動等を実施しました。初めて使用するソフトや器材に臆することなく業務に取り組み、特に高学年の学生は即戦力として従事することができました。



(株)アライドテック



オリエンタルモーター(株)



東北エプソン(株)

Topic5

地域企業訪問研修

地域企業訪問研修とは、本校卒業生が企業技術者として活躍している地元企業を訪問し、懇談する機会を設け、実社会での企業人としての心構えなどを研修させる取り組みであり、鶴岡高専技術振興会と共催しております。

本年度は9月までに4日間実施され、県内5社の企業を訪問しました。訪問時には、会社概要説明や工場見学、鶴岡高専OB・OGとの懇談会が行われ、学生から積極的な質問もなされ、地元企業について理解を深める非常に良い機会となりました。

10月以降も、引き続き多くの企業への訪問研修を計画しておりますので、研修の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

訪問日	訪問先企業
6月15日(水)	スズモト(株)
6月22日(水)	ティービーアール(株)
7月1日(金)	東北東ソー化学(株)
	大阪有機化学工業(株)
9月15日(木)	米沢浜理薬品工業(株)



東北東ソー化学(株)



米沢浜理薬品工業(株)



東北エプソン(株)

10月30日（日）に鶴岡メタボロームキャンパス レクチャーホールにて、K-ARC シンポジウムプレイベントを開催し、地元企業、学生の皆さん、鶴岡市、本校関係者等約40人が参加しました。

今回は、「異分野（スポーツ）から学ぼう！」をテーマに、元バスケットボール日本代表の岡山恭崇^{おかやまやすたか}氏をお招きし、「スポーツと私」と題してご講演いただきました。講演では、岡山さんの自己紹介に始まり、



り、バスケットボール日本代表現役時代のお話や、引退後に指導者として感じたコミュニケーションや自己主張、時間を守ることの大切さ等、ユーモアを交えつつ熱心にお話しいただきました。

また、フリーディスカッションでも、部活動での悩み、意思疎通の問題等様々な質問が挙がり、活発な意見交換が行われました。

実施予定	イベント内容
11月11日（金） 18:30～20:00	第1回イブニングセミナー 場所：鶴岡メタボロームキャンパス大会議室
11月22日（火） 18:30～20:00	第44回産業技術フォーラム 場所：庄内産業振興センター研修室
11月30日（水） 13:00～16:40	K-ARC シンポジウム 2016 場所：鶴岡メタボロームキャンパスレクチャーホール 「ICTでつなげる地域共生アグリ・バリュースペース」
12月20日（火） 18:30～20:00	第45回産業技術フォーラム 場所：酒田勤労者福祉センター

ご案内

本校の教職員が出向き、講座を行う『出前講座』を受け付けております。企業の技術力向上にぜひお役立てください！また、学外組織や機関（企業等）から、研究・技術開発上の相談に応じ、情報提供等を行う『技術相談』も随時受け付けております。技術的課題の解決や各種調査研究、学術情報の交換・提供など何でも結構です！

■出前講座 受付窓口■

鶴岡高専技術振興会事務局（（公財）庄内地域産業振興センター内）

TEL:0235-23-2200（平日 8:45～17:30）

HP/問合せフォーム http://www.shonai-sansin.or.jp//tsuruokakousen_info/

■技術相談 受付窓口■

鶴岡工業高等専門学校 総務課 企画・連携係（産学連携コーディネータ）

Mail: techno@tsuruoka-nct.ac.jp（24時間） TEL: 0235-25-9453（平日 8:30～17:00）

HP/申込書：

http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/kyouiku_kenkyu/renkei/chiki/kenkyu-gijyutu/gijutu/

編集・発行

■鶴岡高専地域連携センター

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田 104 Tel: 0235(25)9453 E-mail: techno@tsuruoka-nct.ac.jp

■鶴岡高専技術振興会（（公財）庄内地域産業振興センター 内）

〒997-0015 鶴岡市末広町 3 番 1 号 Tel: 0235(23)2200 E-mail: info@shonai-sansin.or.jp